

子育てのワンポイント

家庭で学ぶ「遊び」のレシピ



家庭での学びに必要なのは大人と一緒に（あるいは子どもだけで）遊ぶこと。遊ぶことが最高の学びです。

☆「絵本を読む」 絵本 1冊で誰でも最高の先生になれる！

家で遊ぶといっても、何をしたらいいのかわからない…。お父さんお母さんからこんな相談をされることがあります。そんな時、まずお勧めするのが絵本。本を開くだけで、物語の世界へ連れて行ってくれる魔法のツールです。おひざの上でママの声を聞く。それだけでも安心感も得られ、子どもの情緒も落ち着きます。また、子どもが何かに興味を持ったら、一緒にそのことについての本を見るのもいいでしょう。絵本はいつも最高の先生になってくれます。

☆「ふれあう遊び」 ふれあうこと＝大人が「そこにいる」こと

子どもにとって、ふれたりふれられたりするの大切です。スキンシップを通して、その人との良好な関係を築きます。だから、たくさんスキンシップをしたいものです。きっと自分が「愛されている」という強い実感が残ると思います。

☆「お手伝いを遊びに」 家で役立つことが自己肯定感を育む

少し大きくなって、「じぶんで！」「いやー！」が多くなってきた子どもには、家事のお手伝いがおすすめてです。お掃除、野菜の下ごしらえ、お米とぎ…、なんでもいいのです。ぜひ、達成感を味わえるようなことをさせてあげましょう。家で役に立つということが、子どもの自己肯定感を育みます。

☆「しぜんと遊ぶ」 自然は発見の宝庫！外遊びで五感を鍛えよう

乳幼児期には、体を動かすことがとても大事です。どんどん外へ行きましょう。自然の中で遊んでいるとき、子どもは知らず知らずのうちに五感を研ぎ澄まされて、さまざまなことを学んでいるのです。葉っぱやお花、木の枝が最高のおもちゃ、最高の教科書になって子どもたちを自然な学びへと導いてくれます。

「非認知能力能力を育てる「しつけない」しつけのレシピ」 大豆生田啓友・大豆生田千夏 著 講談社

今月の絵本

はるのうた

もち なおみ／作・絵 イマジネーション・プラス

はるかぜさんぽ

えがしら みちこ／作 講談社



今月のうた

春の風が 吹いてきたら
めだかも ちょうちょも
小鳥たちも
うれしそうに 笑うだろう
春だよ ぼくらの春が来たよ
北風なんか
あっちの方へ行っちゃえ
素敵な春が
ほんとに来たんだ
ワイワイ！

今月のわらべうた

ずくぼんじょ
ずくぼんじょ
ずっきんかぶって
でてこらさい

4月の予定

☆ 20日(木) 親子ヨガ

☆ 28日(金) 園庭開放

※予約はそれぞれ一ヶ月前から受け付けています。変更になる場合がありますので、詳細は電話などで確認してください。

